

PROGRAM 3 Taste of Culture (実施時期：6月/配当時間：8時間)

GOALS：対話：したいことや行動の目的などについて伝え合う。/対話：屋台で食べられる料理について理解し、伝える。/発表：地域のイベントで売りたいものを伝える。

言語材料：不定詞

- ① 名詞的用法 I want **to eat** an American dog.
- ② 副詞的用法 They sell it **to earn** money.
- ③ 形容詞的用法 I have some pictures **to show** you.

課の概要 地域の祭りに来た真央たちは、屋台料理や、レモネードスタンドについて話す。真央は屋台料理をテーマにして発表する。

時	コーナー名	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
		知・技	思・判・表	主		
1時	Scenes	Listen	聞く		週末にしたいことなどについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 <知識> to 不定詞（名詞的用法）の意味や働きを理解している。 <技能> to 不定詞（名詞的用法）の意味や働きの理解をもとに、週末にしたいことなどについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
2時		Listen	聞く		楽しんでいることについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 <知識> to 不定詞（副詞的用法）の意味や働きを理解している。 <技能> to 不定詞（副詞的用法）の意味や働きの理解をもとに、楽しんでいることについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
3時		Listen	聞く		あるもののクイズについて、聞き取ったり伝え合ったりすることができる。	【知・技】 <知識> to 不定詞（形容詞用法）の意味や働きを理解している。 <技能> to 不定詞（形容詞的用法）の意味や働きの理解をもとに、あるもののクイズについて、聞き取ったり伝え合ったりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
4-6時	本文		聞く 読む	聞く 読む	登場人物が学んだことをほかの人に伝えるために、世界の屋台料理に関する会話・スピーチの概要や要点を捉えることができる。	【思・判・表】--【主】 登場人物が学んだことをほかの人に伝えるために、世界の屋台料理に関する会話・スピーチの概要や要点を捉えている【捉えようとしている】。
7時	Review & Retell		発表	発表	登場人物が学んだことをほかの人に伝えるために、世界の屋台料理に関する会話・スピーチについて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。	【思・判・表】--【主】 登場人物が学んだことをほかの人に伝えるために、世界の屋台料理に関する会話・スピーチについて、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している【話そうとしている】。
8時	Action		発表	発表	地域のイベントで売りたいものについて、自分の考えを相手にわかってもらうために、その目的や具体的な内容とともに伝えることができる。	【思・判・表】--【主】 自分の考えを相手にわかってもらえるように、将来なりたい職業について、理由とともに自分の考えを伝え合ったり、簡単な語句や文などを用いたりして、夢を実現するために必要なことについて書いている【書こうとしている】。 ・地域のイベントで売りたいものについて、自分の考えを相手にわかってもらうために、その目的や具体的な内容とともに伝えている【伝えようとしている】。